



元気な大田原を創ろう！

鈴木たかshiを励ます会

討議資料

鈴木たかshiを励ます会事務局 発行 / 鈴木たかshiを励ます会会長 峰崇 貞美
〒324-0043 栃木県大田原市浅香3-3-19 TEL.090-9969-8790 <https://suzuki-takashi.11furusato.com/>



6月議会で一般質問（令和2年6月12日）

6月定例議会 一般質問などの報告

新型コロナウイルス感染症対策の中での学びの保障、安全安心な市民生活などについて質問しました。

商工業・農業振興、市民の健康維持などについては、所属する大田原創生会において分担し

て一般質問を行いました。

また、6月議会では令和2年度補正予算案（第2号）などについても審議を行いました。

学びの保障などについて

植竹教育長から、「各学校の特色を活かして、児童生徒の実態に応じた家庭学習用の課題を作成し配布、回収することで、学習習慣の継続と質の担保に努めました。提出されたプリントに担任等が一つ一つ目を通し、添削するとともに、学習意欲喚起のために励ましのコメントを記入するなど、丁寧な指導をいたしました。」との回答がありました。

また、学校行事・クラブ活動を含む教育スケジュールなどについて、「遠足や修学旅行、文化祭等は、児童生徒にとって学校生活の充実のために大切な活動であることから、今後の新型コロナウイルス感染症の

状況を鑑みつつ、実施について検討してまいります。部活動については、急激な負荷をかけないように活動時間の短縮等の配慮をしながら基礎練習を中心に活動しています。今後も感染症対策を徹底し、段階的に児童生徒の実態に応じた対応に努めてまいります。」との回答がありました。

多忙な教育現場での教育実習生の受入れについては、「教員のなり手が非常に少ない時代でもあり、教育実習生を大いに歓迎したいと思います」との回答がありました。

村越保健福祉部長から、「市の自粛要請により、平日の午前中から開所した学童保育館において発生した飲食費

を除く人件費や光熱水費等、また利用を自粛した利用者に対して保育料を減免したことによる減収分を子ども・子育て交付金の特例措置分として各学童保育館に交付することになっていました」との回答がありました。

安全安心な市民生活などについて

津久井市長から、「ごみみの収集運搬作業員が感染することで、ごみステーションの収集運搬が停止することを避けなければならないので、委託事業者には、マスク、手袋の着用、手指消毒の実施、作業員の検温等による健康管理の徹底などを指示し、作業が停止することがないようにしています」との回答が

ありました。

（参考）質問項目

1. 新型コロナウイルス感染症対策の中で学びの保障などについて
 - (1) 学校の再開、保育所・認定こども園・幼稚園・学童保育館の本格的な再開に当たっての安全確保対策などについて伺います
 - (2) 児童生徒の教育を受ける環境・様子などについて伺います
 - (3) 学びの保障のための取組みなどについて伺います
 - (4) 学校行事・クラブ活動を含む教育スケジュールなどについて伺います
2. 新型コロナウイルス感染症対策の中で安全安心な市民

生活などについて伺います

- (1) 安全安心な市民生活の確保などについて伺います

令和二年度大田原市補正予算に係る建議要望書について（令和2年4月8日）

大田原創生会が津久井市長へ提出した建議要望書に対して、その一部が本6月定例議会において補正予算案として提出され、議員全員による賛成の採決などが行われました。

主なものは、次のとおりです。

- 学校等におけるマスク、消毒用アルコールなどの衛生材料の確保・備蓄

- 新型コロナウイルス感染症対策資金（貸付利子の無償は第2次地方再生臨時交付金による措置を検討）

- G I G Aスクール構想の前倒し実施（令和2年度で措置された小学校5・6年、中学校1年以外の学年でのタブレット端末等の整備）

- インターネットを用いた授業配信システムの整備による教育機会の確保（通信装置等の整備費用を予算措置。G I G Aスクール構想の前倒しの予算

- 大田原市内飲食店・小売店の利用に関する情報発信支援

なお、その他のセーフティネットの緊急強化、

消費喚起等緊急景気対策、産業振興基盤の整備による景気回復の加速や円滑かつ迅速な対応のための大田原市新型コロナウイルス対策部署の明確化等も要望しました。



大田原創生会から津久井市長へ建議要望（令和2年4月8日）

鈴木たかしのホームページ

